

Kodama Kazuhisa

児玉 和久

ジーアンドエスエンジニアリング
社長



MEMO

- 1969年4月22日生まれ
- 福岡市出身
- 福岡大体育学部卒

大学卒業後、地元建設会社勤務を経て、95年に同社入社。営業部長、常務、専務などを経て2013年1月から現職。学生時代は剣道の強豪校で名選手として鳴らし、何度も全国大会制覇した。座右の銘は「敵は己なり」。武士道に通じる精神は生き方の軸になっているという。

「高い技術で国民の生活と生命を守る」



近年、地震や台風、またゲリラ豪雨などによる大規模な水害・土砂災害が頻発し、その対策が喫緊の課題となっている。道路や橋梁など、社会インフラの調査・設計を手掛ける当社の果たすべき役割は高まっており、「国を創り、国を守る」のスローガンの下、国民の生活と生命を守ることに尽力する。

2019年は、東京都建設局発注

の中小河川の防災機能を強化する設計業務で、3件もの工事で局長賞を同時受賞。また、九州地方整備局発注の設計業務でも局長賞を受賞することができた。当社の技術力が高い評価を受けたことを励みにしながら、柔軟な発想力と迅速な行動力、創意工夫した技術力による提案を磨いていく。

最近では、ドローンによる計測

や、3Dで地形を捉えるレーザー計測などの先端技術に投資し、時代に対応した技術ノウハウの研鑽と蓄積に努めている。

コンサルタント業界も人手不足が慢性化しているが、今後も若手社員の採用と“家族主義”による社内育成に努め、併せて、ベテラン技術者の経験とノウハウを若手に伝承する活動に力を入れていく。